

「平和のかね」

読谷小学校

五年

知念

愛乃音

「平和のかねは君のおねにひびくよー……」

学校ではよく放送されている。平和のかね

私はこの歌が大好きです。

初め、私はあまり歌詞のことを考えずに、

ただ歌、ていました。

「楽しく歌えばいいや。」

そう考えていました。

ある日、担任の先生から歌詩の意味を教え

てもらいました。その時、私は、「深い思い

がこめられた歌」なんだと思いました。

戦争とは、国と国の大きなケンカ。つみも

ない人まで殺されてしまいます。沖縄戦の時

代に生きた人たちは、とてもこわかったと思

います。

「なんで自分はこんな目にあうの。悪い事、

何もしてないのに……」

「大切な家族が何人も死んでしまった。くや

しい……」

「もう戦争はやめて。」

いろいろな思いがそれぞれあったと思います。

中には、殺されるだけでなく、自殺や死  
そして、ほうしやのうでなくなっ、た人もたく  
さんいると思います。

「平和のかねは、」

「戦争はおそろしい。平和な世界でいよう。」  
私は、そんなことを伝えたんだと思いま  
す。

戦争は、つみのない人まで殺される。それ  
は、ただ国を守りたいだけのために命をうばっ  
ていることになりました。

人間にとって、一番大切なのは、「命」で  
す。だから、命をうばうことは、つみです。

戦争は、何のためにもなりません。国を守る  
ために命をうばう。つみだけをくり返して、  
勝っても、たくさん命がぎせいになって、  
失ったことのほうが多くなります。そんな  
ことが楽しいわけがありません。



生き残った人は、けがが治ったとしても、心のきずを治すのには、時間がかかると思われます。家族や友達がなくなるのは、とても悲しいです。

今でも戦争をやっている国があり、つみをくり返しています。

今のままではいけないので、早く世界中の戦争がなくなると思います。そして、その平和が、えいえんでありませうように…。